

2021年7月度(第386回)ライフサイエンス 分科会

開催日時：2021年7月2日(金) 13:30～14:00

開催場所：INFOPRO2021 (Morressier 開催)

参加人数：101名

記入者：旭化成ファーマ 廣谷

1. 内容

第18回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2021ver.

The「医学文献データベース」～その中身と違いを検証する(海外編)～

- ・海外医学文献の代表的なデータベースとして MEDLINE と EMBASE があるが、最近は無料の PubMed が一般的で、GoogleScholar も広く用いられている。データベースの有効活用と使い分けには各データベースの特徴を知る必要があり、こうした有料・無料のデータベースを比較・検証することとした。
- ・PubMed、MEDLINE、EMBASE、GoogleScholar、および CochraneCENTRAL を対象に、同じ検索式の検索結果を比較・検証することとした。なお CochraneCENTRAL は検索無料、かつ、CochraneReviews 作成のための臨床試験情報が収録されていることから対象とした。
- ・検索条件はタイトル「Covid-19 ワクチン and 臨床試験」・出版年「2021年」とした。

【結果】

- ・結果件数は GoogleScholar、PubMed・MEDLINE、EMBASE、CochraneCENTRAL の順に多かったが、いずれのデータベースにも単独収録があった。
- ・収録誌や収録タイミングのほか、同じ論文で出版年・論文タイトルが異なるものがあった。
- ・同じデータベース内での重複もあった (PubMed と MEDLINE でプレプリントとその後の雑誌論文、GoogleScholar では同じ雑誌論文の重複)。
- ・一度収録された論文のタイトルが変更されていたものもあった。
- ・リスト出力の利便性の違いや GoogleScholar ではリストと収録データの不備を確認した。

【まとめ】

- ・電子入稿によると思われるデータベース内のデータの流動的な様子が窺われ、検索実施に際しては検索条件や検索実施日、結果などのエビデンスの保管が重要である。特に今回は2021年4月時点の Covid-19 がテーマで各データベースの特徴が顕在化したと思われる。
- ・信頼のおける情報を得て行くためにはこうしたデータベースの動向を注視し利用者としてスキルを磨くとともにデータベース作成/提供者への意見・提案と協力が必要であろう。

【質疑】

・今回の結果の中に「ハゲタカジャーナル」由来の論文はありましたか？

→今回は検証していません。GoogleScholar のみでヒットした雑誌タイトルを検討したいと思います。

・今回取り上げた中では、GoogleScholar が特徴的だと思います。雑多な情報があると思うので、情報の見極めとして気を付ける点等ございますか？

→GoogleScholar はリスト出力などデータの保管・固定化が不便で難しいです。都度、1件ずつ見ていく必要があると思います。

2. 次回以降の予定

8月 休み

9月16日(木) 未定(企画1G)

以上